

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

平成 28 事業年度財務諸表の概要

自然科学研究機構は、平成 16 年度に法人化し、大学共同利用機関法人として国内外の研究者に対し共同利用・共同研究の場を提供するとともに、自然科学の最先端の研究や関連分野の研究を発展させるための活動を行っています。

本機構における平成 28 事業年度財務諸表の概要は、次のようになっています。

<貸借対照表>

本機構の財政状態を明らかにするため、基準日（平成 29 年 3 月 31 日）におけるすべての資産、負債及び純資産を記載しています。

(単位: 百万円、%)

区分	平成27年度	平成28年度	対前年度 増△減額	増減率	区分	平成27年度	平成28年度	対前年度 増△減額	増減率
	A	B	B-A	(B-A)/A		A	B	B-A	(B-A)/A
資産の部					負債の部				
有形固定資産	104,015	97,252	△ 6,763	△ 6.5	資産見返負債	33,820	32,392	△ 1,427	△ 4.2
土地	28,839	28,839	0	0.0	引当金	-	-	-	-
建物	33,435	31,600	△ 1,835	△ 5.4	資産除去債務	612	517	△ 94	△ 15.4
構築物	964	907	△ 56	△ 5.8	長期未払金	2,479	1,048	△ 1,431	△ 57.7
工具器具備品	32,050	25,840	△ 6,210	△ 19.3	固定負債合計	36,912	33,959	△ 2,953	△ 8.0
建設仮勘定	5,942	7,258	1,316	22.1	運営費交付金債務	0	1,693	1,693	-
その他	2,783	2,805	22	0.8	寄附金債務	835	1,166	330	39.5
無形固定資産	5,580	5,378	△ 202	△ 3.6	前受金等	593	469	△ 123	△ 20.8
投資その他の資産	51	54	2	5.4	預り科学研究費補助金	284	436	152	53.6
固定資産合計	109,648	102,684	△ 6,963	△ 6.3	未払金	10,947	7,704	△ 3,243	△ 29.6
現金及び預金	10,387	8,032	△ 2,354	△ 22.6	その他	73	234	160	218.7
未収入金	386	811	425	110.1	流動負債合計	12,734	11,704	△ 1,029	△ 8.0
たな卸資産	518	340	△ 177	△ 34.3	負債合計	49,647	45,664	△ 3,983	△ 8.0
前払費用	294	1,197	903	306.8	純資産の部				
その他	6	21	15	251.3	資本金(政府出資金)	75,038	75,038	0	0.0
流動資産合計	11,592	10,403	△ 1,188	△ 10.2	資本剰余金	△ 3,987	△ 7,871	△ 3,884	97.4
資産合計	121,240	113,088	△ 8,151	△ 6.7	利益剰余金	541	257	△ 284	△ 52.4
					重点研究推進積立金	0	0	0	-
					積立金	162	0	△ 162	△ 100.0
					当期未処分利益	379	△ 150	△ 530	△ 139.6
					純資産合計	71,593	67,424	△ 4,168	△ 5.8
					負債純資産合計	121,240	113,088	△ 8,151	△ 6.7

(※端数整理のため合計は一致しません)

◆ 資産

資産総額は 1,130 億円で、前年度に比べ 81 億円減少（6.7%減）しました。これは TMT 計画における 30m 望遠鏡の設計などにより建設仮勘定が 13 億円増加した一方で、工具器具備品が減価償却等により 62 億円減少したことなどによるものです。

◆ 負債

負債総額は 456 億円で、前年度に比べ 39 億円減少（8.0%減）しました。これは納期が年度末となる大型契約の減少などにより未払金が 32 億円減少したことなどによるものです。

◆ 純資産

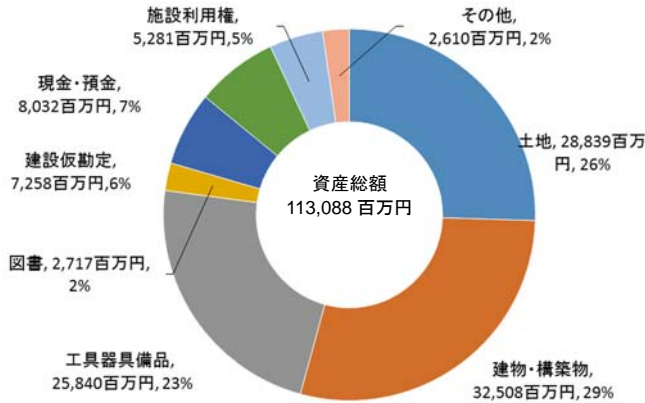
純資産総額は 674 億円で、前年度に比べ 41 億円減少（5.8%減）しました。

これは資本剰余金が、施設費などで取得した資産によって増加した一方で、損益外減価償却により減少し、総じて 38 億円減少したことなどが理由に挙げられます。

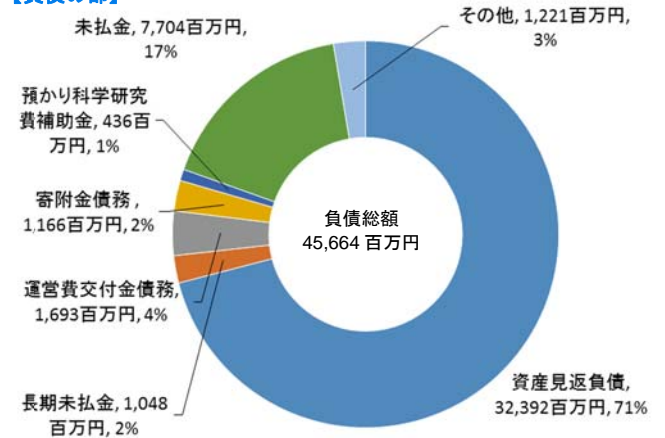
（「純資産」は国立大学法人会計基準等の改正により、平成 19 年度から従来の「資本」から名称変更したものです。）

◆ 資産・負債の構成内訳

【資産の部】



【負債の部】



< 損益計算書 >

本機構の運営状況を明らかにするため、一会計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）におけるすべての費用と収益を記載しています。

◆ 経常費用

		(単位: 百万円、%)									
区分	平成27年度	平成28年度	対前年度増△減額	増減率	区分	平成27年度	平成28年度	対前年度増△減額	増減率		
	A	B	B-A	(B-A)/A		A	B	B-A	(B-A)/A		
経常費用 a	36,731	34,204	△ 2,527	△ 6.9	経常収益 o	36,912	33,924	△ 2,987	△ 8.1		
業務費	34,695	32,343	△ 2,352	△ 6.8	運営費交付金収益	25,680	24,541	△ 1,138	△ 4.4		
教育経費	3	3	0	△ 0.0	大学院教育収益	280	271	△ 9	△ 3.4		
大学院教育経費	181	180	0	△ 0.4	受託研究等収益	1,925	1,984	58	3.1		
研究経費	3,616	3,259	△ 356	△ 9.9	寄附金収益	250	296	45	18.2		
共同利用・共同研究経費	16,120	13,537	△ 2,582	△ 16.0	施設費収益	70	35	△ 35	△ 50.3		
教育研究支援経費	2,735	2,765	30	1.1	補助金等収益	434	437	2	0.7		
受託研究費等	1,918	1,969	51	2.7	資産見返負債戻入	7,191	5,569	△ 1,621	△ 22.5		
人件費	10,120	10,625	505	5.0	財務収益	69	38	△ 30	△ 44.1		
一般管理費	1,957	1,813	△ 144	△ 7.4	雑益	1,009	749	△ 259	△ 25.7		
財務費用・雑損	78	47	△ 30	△ 39.3	経常利益 d=o-a	180	△ 280	△ 460	-		
臨時損失 b	145	132	△ 12	△ 8.8	臨時利益 e	200	128	△ 72	△ 35.9		
					当期純利益 f=e-b+d	235	△ 284	△ 519	-		
					目的積立金取崩額 g	144	133	△ 10	-		
					当期総損失 f+g	379	△ 150	△ 530	-		

(※端数整理のため合計は一致しません)

経常費用の総額は 342 億円で、昨年度に比べ 25 億円減少（6.9%減）しました。これは減価償却費の減少等により共同利用・共同研究経費が 25 億円減少したことなどが理由に挙げられます。

◆ 臨時損失

臨時損失の総額は 1.3 億円で、固定資産の除却（残存価額相当分）を計上しています。

◆ 経常収益

経常収益の総額は339億円で、前年度に比べ29億円減少（8.1%減）しました。

これは、固定資産の償却期間の経過により、これらの資産の減価償却費の見合いとして計上される資産見返負債戻入が16億円減少したこと、運営費交付金収益が11億円減少したことが理由に挙げられます。

◆ 臨時利益

臨時利益の総額は1.2億円で、固定資産の除却に伴う資産見返負債戻入のほか、固定資産売却益を計上しています。

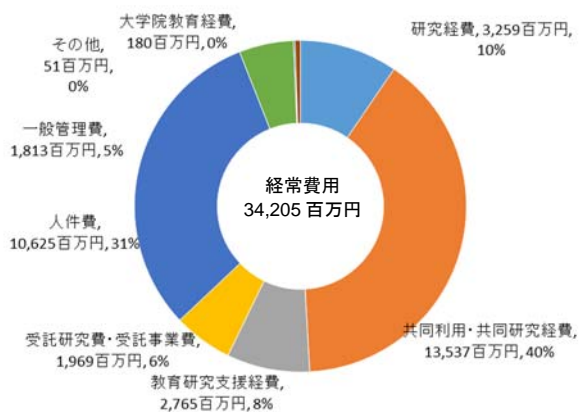
◆ 当期総損失

収益から費用を差し引いた1.5億円が当期総損失となります。

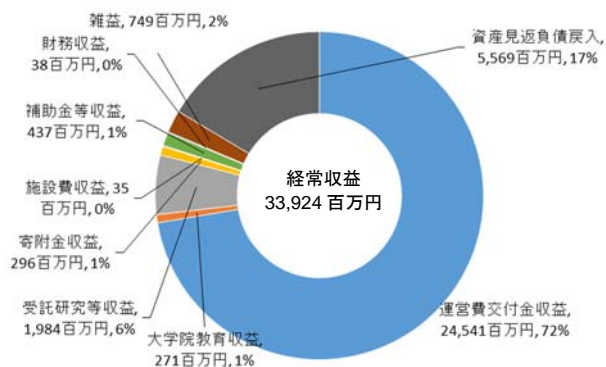
損失を計上するに至った主な理由は、平成27年度に支払った前払費用（アルマ計画の分担金）に対応する債務が、中期目標期間の最終事業年度であったために平成27年度中に収益化されたため、28年度には費用のみが計上されることとなったことなどが挙げられます。

◆ 経常費用・経常収益の構成内訳

【経常費用】



【経常収益】



(お問合せ先)

自然科学研究機構 事務局財務課財務係

電話 03-5425-2040 FAX 03-5425-2049